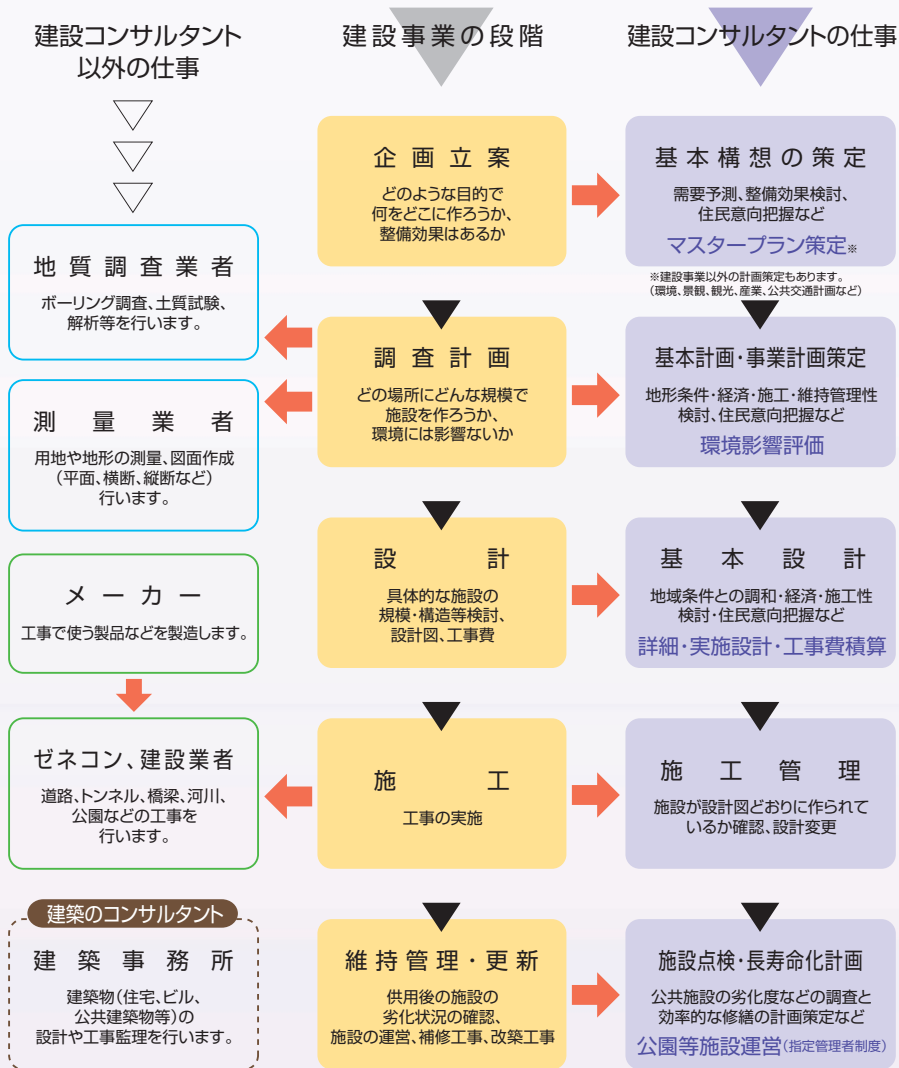


建設コンサルタントの仕事の場面

建設コンサルタントは建設事業を中心とした各種プロジェクトの各段階において活躍しています。

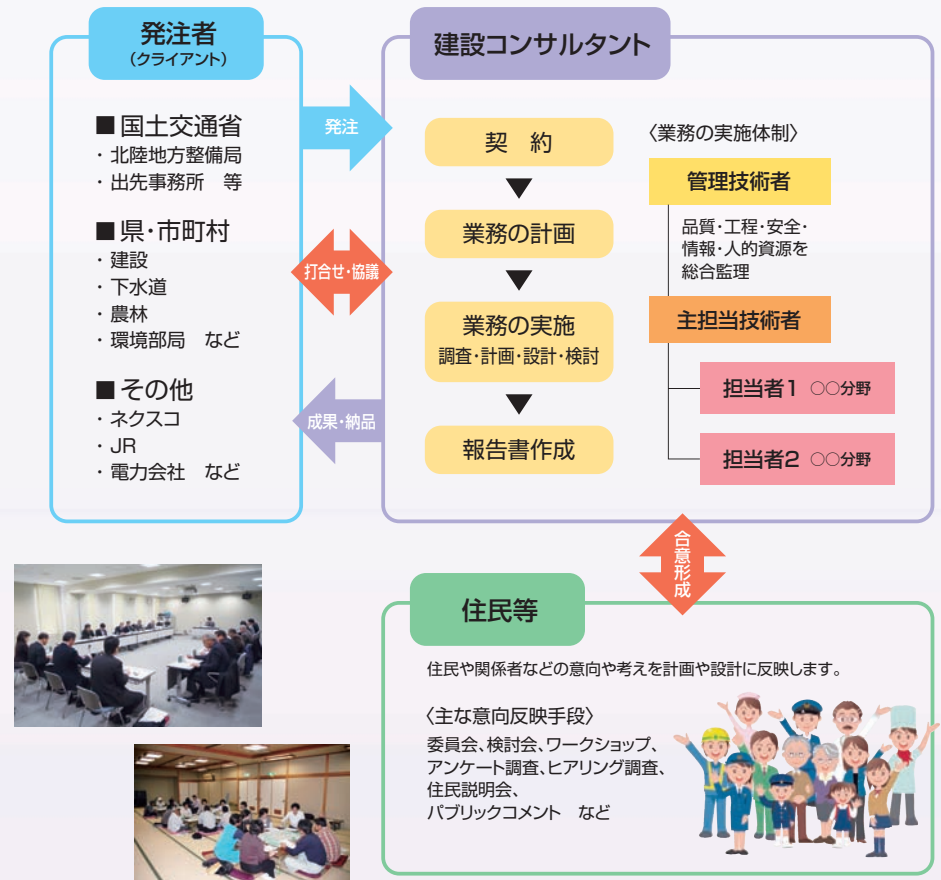


建設コンサルタントの仕事の流れ

建設コンサルタント会社は、国や地方自治体などから「発注」された業務に対し「契約」を結び、仕事を開始します。発注者と調査設計手法などについて「打合せ協議」を行いながら作業を進めます。業務の成果として報告書や図面を「納品」します。

業務の発注方式
~価格競争から技術競争へ~

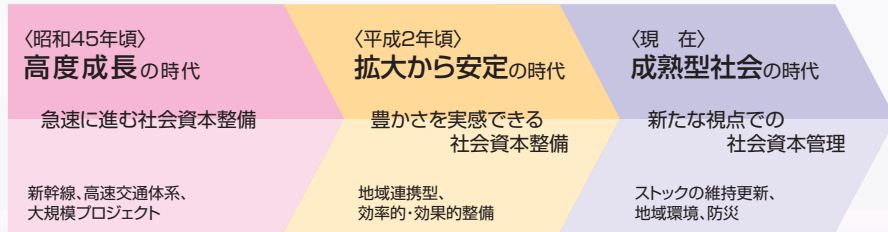
これまでの入札方式から、技術力を審査する「プロポーザル方式」、技術と価格双方を評価する「総合評価方式」などでの業者選定方法が多くなっています。



これからの成長分野

時代潮流の変化の中で、私たち建設コンサルタントの仕事は、これからも多様な領域に拡がり、成長が期待できます。

社会資本整備を取り巻く環境の変化



社会環境の変化に応じた
新たなニーズ・領域が拡大



長寿命化

- 高度成長期に整備された大量な社会資本ストックの維持・更新管理 (道路施設、舗装、橋梁、トンネル、河川、砂防施設、下水道、公園など)

防 災

- 地球温暖化に伴う豪雨水害や土砂災害、大震災、津波などが懸念される中での強靱な国土形成に向けた対策

持続可能性

- コンパクトシティ、サステイナブルシティ形成に向けた調査計画
- 集落や街なかのエリアマネジメント
- 公共交通、新交通、自転車利用計画

環 境

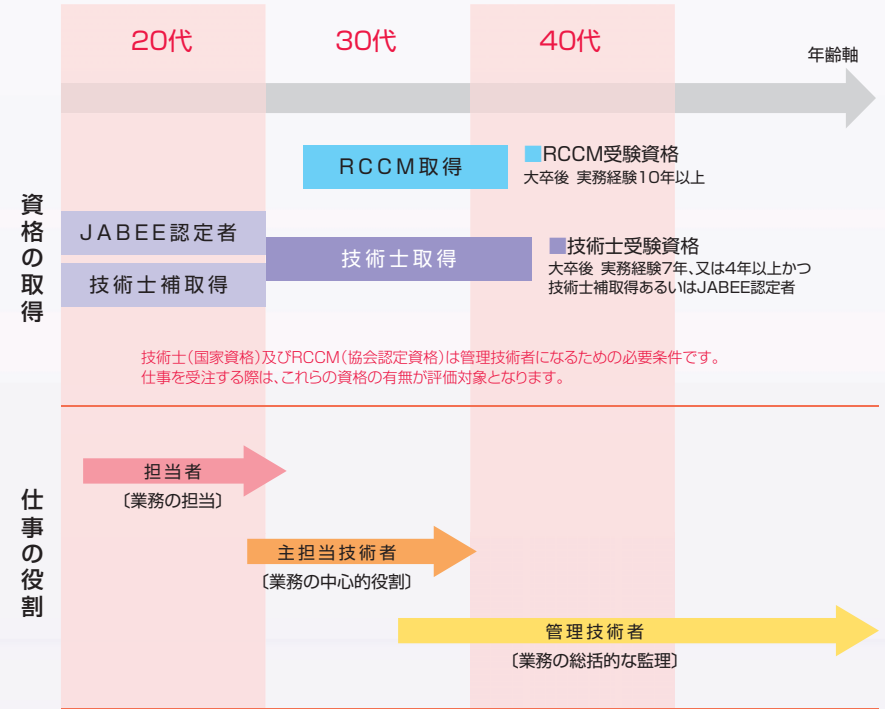
- 低炭素社会、スマートシティ形成に向けた調査計画
- 太陽光、風力、バイオマス、小水力など再生可能エネルギーの整備検討

行政支援

- PFI業務
- 発注者支援業務
- CM(コンストラクションマネジメント)

キャリアアップモデル

社会的に重要な役割を担う建設コンサルタント業界では、個人の能力を発揮できるチャンスがたくさんあります。これらのチャンスや仕事の経験を活かし力量を高めるとともに、客観的指標となる「資格」を取得することも重要です。優れた人材が多く集まり、さらに魅力ある集団として発展していくことを期待しています。



求められる能力

- 企画力
- 分析力
- 問題解決力
- 判断力
- コミュニケーション力
- プレゼンテーション力
- 行動力
- マネジメント力

